

實物寫眞	スンプ寫眞	植物名	實物寫眞	スンプ寫眞	植物名
7 圖	24 圖	あをびゆ	19 圖	32 圖	つるのげいとう
8 圖	30 圖	びゆ	20 圖	33 圖	ほそばつるのげいとう
9 圖	29 圖	はげいとう	21 圖	42 圖	あかざ
10 圖	28 圖	すぎもりげいとう	43 圖	〃	
11 圖	35 圖	いんどひもかづら			
12 圖	36 圖	むらさきけまん			

再ビ畸形ノほしだニ就キテ

久 内 清 孝

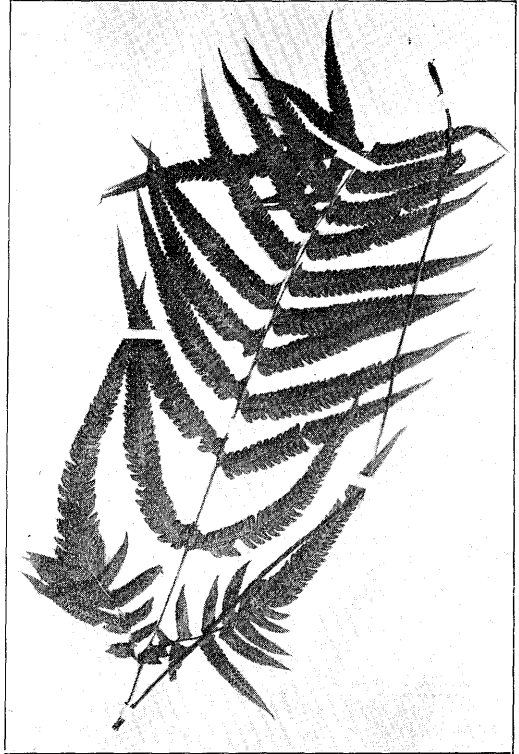
Kiyotaka HISAUCHI : More about on a teratological form of
Dryopteris acuminata NAKAI

本誌第 10 卷 1 號ニ於テ伊豆下田産ノ畸形ほしだニ就イテ述ベサセテ頂イタガ、其時更ニ此ノ件ニ就テ再ビ述ベルコトヲ約束シタ。依テ以下イサ、カ述ベテ見タイト思フ。余ハ第 10 卷 第 1 號ニ於テ、アノ時掲出シタ寫眞ニ相當スルモノハ、小泉博士ノいよほしだナラント云ツタガ、元來いよほしだナルモノハ、第一羽片ノミガ二回羽狀ナルニ、アノ圖ノモノハ第二羽片マデ二回羽狀ニナツテ居ル。此點ニ於テいよほしだニハビツタリト當ハマラナイ。從ツテ大イニ再考シナケレバナラナイト思ツタ。其レ故、昨年十二月、マタ、伊豆ノ下田ニ行キ、同一個所ニ就キ自分ヲ満足サセルべく充分ノ探查ヲ行ツタ處、前掲寫眞ノモノニ該當スルモノハ殆ンド無ク、此處ニ掲出スル寫眞ノ如クいよほしだノ原記載ニ相當スルモノ約 40 ヲ得タ。然シテ其一部ハ東大ノ腊葉室及ビ科學博物館ニ置キ、他ノ一部ヲ京都ニ送り小泉源一博士ノ高鑑ヲ煩シタル所、小泉博士モいよほしだノ太鼓判ヲ押サレタ。ソレ故、コノ者ノ產地ハ西ノ方伊豫カラ東ノ方伊豆ニ飛シダコトニナツタ。箱根以東ニハ昔カラ化物ハ居ナイ筈カラ、關東ニ現在無イノハ當然デアラウ。シカシ、何レノ日何人ガ見付ケルカハ豫斷出來ナイ。

サテ、コンナ者ヲ同一個所デ 40 モ採レバ、先ヅ余ハコノ羊齒ヲ充分ニ觀察シター人デアルト言ヘルト思フガ、余ノ見タ處デハ、同一地下莖カラ普通ノ型

ノモノガ出テ居リ、且ツ第一羽片ノ再羽狀ニナル狀態ハ甚ダ區々デ、其程度モ僅ニ其狀ヲ呈シタ位ノモノヤ羽片ノ片側丈ガソシナニナツタノヤ、千態萬狀デモナイガ、カナリソシナ言葉デ表現シタイノモアツタ。タゞ考フベキハ、葉狀體 (brond) 全體ノ幅員ガカナリ廣イコトデ其點ニ就テハ田川基二氏ガ植物分類地理第 2 ノ 3 ニ言ハレテ居ル通りデアル。

ソモソモ、此羊齒ハ、小泉博士ガ植物學雜誌 XXXIX 卷ノ第 10 頁デ *Dryopteris Ogatana* Koidz. トシテ發表サレタニ始マルノデアルガ、其後田川基二氏ハ之ヲほしだノ變種ニ更メ、植物分類地理第 2 卷 3 號ニ發表サレタノデテル。サテ、之ヲ種トスルガヨイカ、變種トスルガヨイカ、將マター畸形トスルガヨ



ほしだ *Dryopteris acuminata* NAKAI

イカハ賢明ナル人ノ判斷ニマカセルガ斯様ナモノガ伊豆ノ下田ニモ在ルコトヲ報ジテ、下田名物フーツ追加シテオク。

尙責任ヲ明カニスル爲メニ場所ヲ書クガ、ソコハ下田公園ノ西側デ、大浦カラ行クト右側ニカナリ大キナ岩塊ノ島ガアルガ其反對側ノ松林中デアル。心アル人ノ多イ世ノ中ダカラ、之ヲ全滅サセル様ナ人ハナイト安心シテ居ル。終リニカ、ルツマラナイ者ヲ二度迄モ書イタコトニ對スル世人ノ罵倒ハ覺悟シテ居ル。